

もりもり

第52号

2008.1.1発行
医療法人
益島歯科医院



～お口のケアシリーズ～

① 歯周病

DH. 太田 祥子

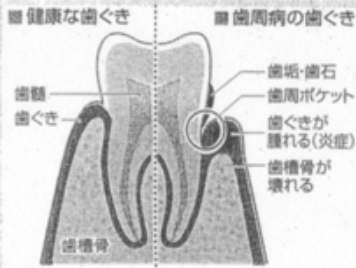
歯の根っこを包むようにして歯を支えているのが歯槽骨です。口の中の悪玉菌によって歯ぐきが炎症を起こし、歯槽骨が壊れて歯が抜けてしまうこともあるのが歯周病です。自覚症状はほとんどありません。

2005年、厚生労働省の調査では、55～74歳の約半数が歯周病にかかっているとされています。口の中には数百種類の細菌がいて、このうち5種類ほどが歯周病を引き起こすといわれます。歯周病菌は歯と歯ぐきの間の溝(歯周ポケット)で増殖します。そこをしっかりと磨けばいいのですが、ポケットが深いとハブラシの毛先が届かないため、ほとんどの人が磨ききれません。

歯石は、格好の歯周病菌のすみかになります。歯石はハブラシでは取れないので、歯科医師、歯科衛生士によるプロの定期的なケアが必要となります。さらに、歯周病の発症は生活習慣とも深いかわりがあります。ちょこちょこ食べると細菌が繁殖しやすくなるので、間食は控えましょう。

歯周病予防のポイントは?

- ① 歯と歯ぐきの境目を磨く
- ② 定期的にプロのケアを
- ③ 生活習慣を見直す



歯周病のケア

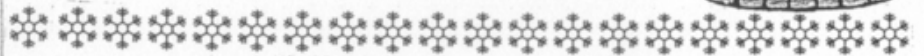
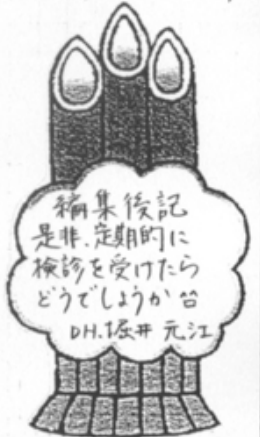
DH. 飯島 和美



「歯を支えている土台がもたないですね」そんなことを言われた経験ありますか? 診断は、「歯周病」です。細菌感染で炎症を起こし、歯を支える骨などが破壊されていく病気です。

歯周病を治すには、定期的に通院し、自分にあった歯みがきの指導を受けましょう。また口の中には、善玉・悪玉と様々な細菌が存在しています。歯周病菌はその一つで、これが増えて発症します。増えないように歯科医院で歯ぐきの中の汚れを取ってもらうことも大切です。

ふれあいのなかで...
 新年あけましておめでとうございます。
 去年はどんな年でしたか?
 私は7月から益島歯科のスタッフとなり、充実した年でした。
 今年もたくさんの笑顔に出会えるようがんばりたいと思います。
 DH. 志塚 純奈



また、喫煙者の発症は、吸わない人の5～8倍多く、それは煙でいぶされた歯ぐきが焦裂のようになって腫れない為、発見が遅れるからです。

当院は歯周病を未然に防ぐため、歯ぐきの検査、歯周ポケットの中の歯垢、歯石除去、歯磨き指導を積極的に行なっています。

